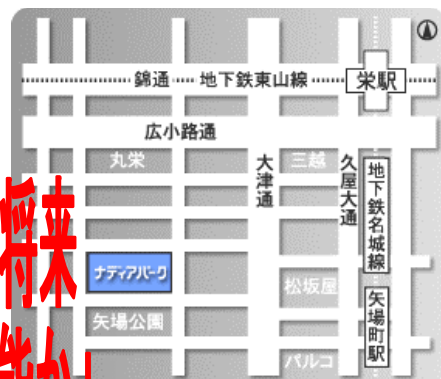


# [第8回気象サイエンスカフェin名古屋]

日時：2015年3月22日(日)17:00~19:00 (受付開始16:30から)

場所：ナディアパーク 7階  
「7th cafe (セブンスカフェ)」

主催：(公社)日本気象学会中部支部  
(一社)日本気象予報士会東海支部



テーマ：「最新の気象レーダーで何が観測でき、将来の気象レーダーで極端気象の予測はどこまで可能か」

スピーカー：上田 博さん

所属：名古屋大学地球水循環研究センター

参加者：どなたでも可

参加費：600円(ドリンクとケーキの代金)

定員：40名程度(先着順)

申し込み期限：2015年3月21日(土)

※ただしそれ以前に定員に達した場合には申込受付を締め切らせていただきます。

お問い合わせ/お申し込みは、メールにてお願いします。

midori-i@zk9.so-net.ne.jp 担当幹事 岩田

件名は「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、電話番号(会社、携帯等)、所属(気象予報士会会員、大学生、自治体等)を記入。複数名の場合は、参加人数と代表者で可。

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です。「気象サイエンスカフェin名古屋」は昨年10月に開催後今回が8回目となります。

**今回、スピーカーに迎える名古屋大学上田先生には、「気象庁レーダーが全てドップラー化され、ドップラー・レーダー・ネットワークとなり、さらに高精度化されました。都市部を中心に X バンド・MP レーダーによる XRAIN のネットワークも公開され、短時間強雨や、竜巻、雷の予測に重要な情報を提供しています。これらの例を示しながら、気象レーダーの発展の歴史とレーダー観測の原理を概説し、最新のレーダーで何が観測でき、フェーズドアレイレーダーなどの将来の気象レーダーがどうなりそうなのかについて、最新の情報も含めてお話ししていただきます。」**

上田先生のプロフィール

1978年～1985年 国立防災科学技術センター第一研究部研究員：豪雨・豪雪の研究に従事

1983年～1984年 米国立中小規模擾乱研究所(NSSL) 滞在研究員

ドップラーレーダーを用いたガストフロントの自動検出法の開発

1985年～2000年 北海道大学理学部助教授：豪雨・豪雪の発生機構に関する研究に従事

2001年～現在 名古屋大学地球水循環研究センター教授

アジア域における降水機構の研究及び偏波レーダーを用いた降水雲の構造に関する研究に従事